高田町親和会だより
第78号

災害への備え　～在宅避難のすすめ～

新型コロナ第7波が猛威をふるう中、台風シーズンを迎えようとしています。

避難所となる高田東小学校では、感染対策をして避難者を受け入れるので、受け入れられる避難者数は限られます。また避難所は感染リスクが高いので、なるべくなら避難所に行かないで済むような対策を考えましょう。

【避難生活場所の選択】

もし大地震が起きた場合、自宅の危険を見極めましょう。

自宅に倒壊などの被害があるか？

家具や食器などが散乱しているか？

隣家の倒壊・火災などで自宅に影響があるか？

自宅に危険がなければ、自宅で生活できるか確認しましょう。

生活していくうえで他人のサポートが必要か？

必要な備蓄品があるか？

自宅での生活が困難ならば、高田東小学校の避難所に避難しましょう。

自宅での生活に不安がなければ、在宅避難を選択しましょう。

【自宅の安全性は？】

自宅の危険度に応じて適切な対策を講じましょう。

平成七年の阪神淡路大震災の死者の八割が建物・家具による圧死でした。　横浜市では、昭和五十六年の耐震基準以前に建てられた木造住宅は無料で耐震診断を受けられます。耐震性に問題があれば適切な耐震改修をしましょう。横浜市から改修費用の補助を受けることができます。

地震の揺れで家具が転倒しないように固定しましょう。

火災報知器、消火器、感震ブレーカーを設置しましょう。

【備蓄品の準備】

大地震後のライフラインの復旧には、

電気　1週間、　水道　3週間、　ガス　5週間　かかると言われています。在宅避難に必要な最低3日分できれば1週間分の物資を事前に準備しましょう。

水（1日1人3リットル）、食糧、トイレパック（1日1人5パック）、懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、ポリタンク、カセットボンベ等。

その他、ご家庭の状況に合わせて必要なものを準備しましょう。

持病のある方は、飲んでいる薬。

乳幼児のいる家庭では、ミルク、おむつ等。

要介護者のいる家庭では、おむつ、介護食等。

妊婦のいる家庭では、さらし、新生児用品等。

【大地震発生後のトイレ使用について】

大地震発生後は液状化現象により、下水管が破損しているかもしれません。水洗トイレを使用せず、**トイレパックを使用しましょう。**トイレに流した水が汚水桝まで流れてくるか、汚水桝にたまらずに流れるか、周辺道路のマンホールから水があふれてなければトイレは使用可能です。

（防災担当　山本正史）

環境活動について

毎回清掃活動にご協力いただき、厚く感謝申し上げます。不法投棄も減少し環境保持とゴミ減量に貢献しています。

近年問題のCO2削減策としてリデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生)、リフューズ(購買抑制)、リペア(修理)の「5R運動」を推進するゴミ減量化が大切です。

七月三日(日)ハマロードに加え、高田駅周辺と早渕川遊歩道の清掃に、二十五名がご参加されました。グリーンインフラ整備にもご貢献いただき、誠にありがとうございました。

(環境事業推進委員　山本純義)

高田地区一斉防犯パトロール

七月九日（土）十九時より、高田地区一斉パトロールが行われました。港北警察署・高田交番の警察官・小学生含め、十四人の皆さんと親和会町内をパトロールしました。終了後に同行された秋野警察官より、『この様に皆さんの防犯意識が高いところでは、事件・事故なども少なく、これからも継続をお願いします』との、お話しをいただきました。「自分達の町は自分達で守る」という強い気持ちで、犯罪を寄せつけない！安全で安心して暮らせる町作りを、更に子供さん達にも防犯の習慣を身につけていただければと願い取り組んで参りたいと思います。参加していただいた皆様、暑い中ありがとうございました。

(防犯担当　川田親吾)

イベント情報

9/9（金）20時　防犯パトロール
9/11（日）7時　町内清掃
9/15（木）　親睦日帰りバス旅行
9/25（日）　班長会議・防災研修会
10/9（日）　たかた防災ふれあいまつり
10/14（金）20時　防犯パトロール
10/16（日）7時　町内清掃
10/27（木）13時　敬老茶話会
10/30（日）役員会
11/11（金）20時　防犯パトロール
11/13（日）8時　町内清掃
11/19（日）グランドゴルフ大会
11/23（水）ふるさと港北　ふれあいまつり
11/27（日）役員会

※新型コロナウイルス感染状況により、親睦日帰りバス旅行、敬老茶話会は、中止になる場合があります。

訃報

A-1　吉田　則　様
D-3　森島　悦子　様

ご冥福をお祈りいたします。